



# mIRaI 通信

～輝く「未来」の中に「伊里」はある～



## メラメラメラと燃えた関谷研修



パート2は野外炊事から。この雨で薪が湿って火が点かないのを心配していましたが、何の何の、火の起こし方、火力の維持については、今まで見てきた幾多の野外炊事の中でもトップクラスの出来でした。やはり、この厳しい環境が人をつくるのでしょうか（苦笑）。しかし、この火力が後の悲劇を産もうとは、この時はまだ誰も知らないのであったの

であった（怖）。調理の具合も順調で、男女しっかり協力していそいそと調理に励んでいました。とても微笑ましい光景でした。そして完成が近づき…。

下の3枚の写真をご覧ください。火力がすさまじかった分、お焦げが…（泣）。なかなかの香ばしさのご飯の出来上がりです。まあでもこのくらいは十分な合格点です。火の調整ってムツカシイ。カレーの方はバッチリ！そして何人かは、昼に作った竹のスプーンでいただいたのでした。自分たちで作ったカレーを、自分で作ったオリジナルスプーンで食べる…まさに極上の味わいでしょうね。その割には、「竹くさい～～」という悲鳴も聞こえてきましたが（爆）。



そして一番の苦行が片づけ。はんごうについた焦げはそう簡単には落ちません。でも落とさないと合格しません。額に汗しながらゴシゴシ頑張る姿は美しい。特に女子にガンバリが目立ちました。時間はオーバーしてしまいましたが、無事終了です。お疲れ様～。





疲れた体をお風呂で癒し（その割には怒濤に慌たしい入浴でしたが）、続いてはキャンドルサービスです。

第1部での、火の神の、「ワシが与えた火を、お前たちは大切に賢く使っておるか〜!?」「先ほどの4つの誓いが本当かどうか見せてみる。できなければ火を取り上げるぞ!」という、上から目線（まあ神様ですからね：苦笑）のお言葉に、一念発起?その後のスタンツの盛り上がり・協力・仲の良さへ抜群でした。感心感心。これにはまた最後に登場した火の神も満足したようで、「この火をお前たちに託そう。いつも心に、人を癒し励ます暖かい火を持ち続けてくれ」とのお言葉を残し、全員と「さらばじゃ」と握手をかわし去って行かれました。神様にここまで言われたらやるしかありませんね。人が自然と集まって来るような。温かな人になっていってください。



夜も更けてきました。各班ごとの反省会、室長会の様子です。この日は、「時間が守れない」「話を聴く態度が悪い」という反省が出たようです。課題は克服するためにある!ですよね。

そして部屋に入って就寝準備。場合によっては、ここからが宿泊研修の醍醐味。教員と生徒の仁義なきバトルが展開され、ひどい時は一睡もできない…などということもあるのですが。さすがは伊里中学校「心をつに」1年生。アツという間に静かになる、教員思いのやさしい学年だったので、と誉め讃えられる、はずでしたが…。

朝起きてから聞いたところによると、5時くらいにあるクラスの男子の部屋はかなりうるさかったそうで。早くに目が覚めて、我慢できずに話始めたというパターンでしょうが、研修の意義とか、周囲への迷惑を全く考えられていない行動です。こういうことがあると、せっかくみんなが頑張っ作ってきた好印象も、ガラガラと音をたてて崩れていきます。この話を聞いた私には。間違いなくその音が聞こえたのでした。さぁ取り返さないと大変なことになりますよ〜。



そして、こういうことは、えてして後に影響するもので、部屋の片づけ、シーツたたみに時間がかかり、朝の清掃に遅れて叱られる、という悪循環になっていったのでした。このピンチを脱出するチャンスは、もう

オリエンテーリングしかないぞ、というところまで追い込まれたのでした。さぁどうする「心をつに」にするはずの1年生?

と、2枚でまとめる予定が…（苦笑）。次号に続きます。果たして1年生は無事その名誉を取り戻せたのか??ハラハラドキドキ。

その前に、朝食のバイキングと食事風景をどうぞ。これだけ見ればのどかです（笑）。

